

(共同リリース)

2018年4月26日
日本エアコミューター株式会社
TRU Simulation + Training
JAC18-001号

日本エアコミューター、ATR型機フルフライトシミュレーターを日本初導入



JALグループの日本エアコミューター株式会社(以下「JAC」)は、運航乗務員及び整備士の訓練機材として、TRU Simulation + Training Canada Inc. (本社:カナダ モントリオール、以下「TRU」)のATR型機フルフライトシミュレーター(以下、「FFS」)を国内で初導入しました。当FFSは国土交通大臣による最高位の性能区分である“レベルD”の認定を取得しており、JAC 就航地の鹿児島・奄美・喜界島等の空港モデルを搭載しています。

【JAC 代表取締役社長 加藤 洋樹のコメント】

「ATR型機は地域航空を担う非常に重要な航空機であり、その運航を支えるFFSはまさに地域航空の礎だと考えています。このFFSを活用することで、効率的でより安全な日本におけるATR型機の訓練体制を整えることができます。JACは機体整備等も含め、国内のターボプロップ機運航における中心的役割をこれからも果たしていきます。」

【TRU 副社長兼エアトランスポート・シミュレーション部門長 ジョージ・カラムのコメント】

「私どものFFSがJACに選ばれたことを光栄に思っています。TRUの最新技術が詰まったFFSにより、日本の地域航空の安全運航をより効率的に支えていけることを確信しています。」

会社概要

【日本エアコンピューター株式会社(JAC)】

JAL 60%、鹿児島県の奄美群島 12 市町村 40%の出資により 1983 年に設立。鹿児島空港に本社を置き、JAL グループ国内ネットワークの一翼として、奄美群島を中心とした西日本各地を結ぶ路線を運航している。現在は 15 機体制で、21 路線 1 日 79 便を運航し、年間約 100 万人以上のお客さまにご利用いただいている。

【TRU Simulation + Training (TRU)】

米国 Textron*傘下で、民間および軍用ともに航空分野で総合的かつ革新的な訓練ソリューションを提供している。米国グースクリークに本社を置き、高忠実度の訓練機材や乗員及び整備訓練、軍事任務訓練、航空訓練サービス及びサポートを行っている。詳しい情報については、<http://www.TRUSimulation.com> をご覧ください。

*Textronは、航空・防衛・工業・金融ビジネスの世界ネットワークを活用して、顧客に革新的なソリューションとサービスを提供している多業種企業。ベルヘリコプター、セスナ、ビーチクラフト、ホーカー、ヤコブセン、カウテックス、ライカミング、E-Z-GO、グリーンリー、テキストロン・オフロード、テキストロン・システム、TRU等の有力な事業によって、世界に知られています。詳しい情報については、<http://www.textron.com> をご覧ください。

以上

【参考】ATR 型機フルフライトシミュレーター概要

模擬飛行装置の型式	TRU 式 ATR 72/42-600 型
模擬対象とする航空機の型式	ATR 式 72-212A 型 ATR 式 42-500 型
認定種類及び区分	模擬飛行装置 レベル D
ビジュアルシステム	Rockwell Collins 社製 EP-8100 Image Generation System
モーションシステム	Moog 社製 Electro-pneumatic system(電気空気圧式)

問い合わせ先： 日本エアコンピューター株式会社
TRU Simulation + Training

TEL 0995-58-2151
TEL +1 843 574 5330